

「江の島紀行(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

実は「えのしま」には「江ノ島」「江の島」の二つの表記がある。正式な地名(住居表示)は「藤沢市江の島一丁目・二丁目」だが、駅名や切符名は「江ノ島」や「江ノ電」も採用していて、少々わかりづらい。江ノ電の駅名は「江ノ島」だが、湘南モノレールの駅名は「湘南江の島」と表記が分かれている。

鎌倉や江の島方面を旅行する時に、便利な切符に「鎌倉・江ノ島パス」がある。JR線の藤沢～大船～鎌倉間、江ノ電全線、それに湘南モノレールに、一日何度でも乗り降り自由と言う内容だ。



以前は発駅(たとえば東京駅)からの往復運賃も含んだ切符も発売されていたが、現在は現地のJR駅でしか購入できない。子どもは360円なので、当日もこの切符を使った活動が可能かも知れない。下見でもこれを購入して回ってみることにした。



この切符では「湘南モノレール」にも全線乗車可能だ。湘南モノレールは、大船(JR大船駅)～江の島(湘南江の島駅)間を最短時間で結んでいる。終着駅から当の「江の島」まで、かなり歩くのが難点である。モノレールといえば、「東京モノレール」(浜松町～羽田空港)のように、1本のレールの上を走るタイプが多い。しかし湘南モノレールは、レールが車両よりも上にある「懸垂式」という珍しいタイプだ。最近まで上野動物園にあったものと同じタイプだ。従って、カーブでは車体が結構斜めに揺れる。住宅地の「上空」を結構な速度で走るの、初めて乗る人は少し怖いと思うかも知れない。



お正月が近いので、こんなヘッドマークをつけていた。江の島神社も大船観音も、初詣客で賑わうのだろう。元日には記念切符も発売されるようだが、今回はまだ発売前で残念だった。



車内には向い合せのシートが並び、昔の急行列車のような。車体幅は天井よりも床のほうが小さいので、車内は少し狭く感じる。しかし、車窓からは丹沢の山や、相模湾も見えて、楽しい14分間である。